

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会福祉援助技術現場実習 I	北村・武田・田中	実習	3	社会福祉士 (SS)	1, 2, 3	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>本科目は実習科目である。自己の課題をもって現場実習に臨み、現場での職員や利用者との関わり等から問題意識を深め、援助技術の習得を目指す。</p> <p>実習は、実習機関において行う。また、実習期間中には教員による巡回指導を行い、必要時には大学にて個別指導を行う。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉施設や機関の役割や実際を理解する。 2 社会福祉専門職の役割や業務の実際を実践的に理解する。 3 利用者や職員との関わり等から援助技術を習得する。 						
学習内容							
<p>【現場実習において学ぶこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実践能力を養う。学校で学んできたソーシャルワーク実践に必要な知識と技術を使い、社会福祉士としての価値と倫理に基づいて支援を行うための実践能力を養う。 2 利用者やその関係者と援助関係を構築する。援助関係の構築のために、利用者、家族との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成に努める。また、施設、事業者、機関、団体とも円滑に関係を構築できるよう努める。 3 利用者のニーズを理解する。利用者との積極的なコミュニケーションの中から、利用者は今何を望んでいるのか、ということをくみ取る。また、利用者や地域の状況を理解できるように努め、その生活上のニーズを把握し、社会資源の活用・調整・開発も含めた支援計画を作成する。 4 施設・事業者・団体の経営、サービスの運営管理の実際について理解する。 5 他職種連携及びチームアプローチを実践的に理解する。まずは、施設内でのチームアプローチに着目した上で、様々な職種の特徴を知り、家族を含めた利用者支援に必要なアプローチ方法を知る。 6 実習先が地域社会の中で果たす役割を理解し、具体的な地域への働きかけ方について学ぶ。 							
予習内容 復習内容	<p>毎日の実習ごとに行う実習記録作成、それに対する実習評価担当者からの実習ノートへのコメントに対するふりかえりを行うことで、翌日の実習への準備と当日の復習を行う。</p>						
教科書	<p>使用しない。</p>						
成績評価	<p>配属先実習施設での実習評価 70%、実習ノート・巡回指導時の状況等 30%、をあわせて総合的に評価する。</p>						
実務経験							
その他 特記事項	<p>特になし</p>						